

家庭科 授業改善推進プラン

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

- (1) 成果
- ・クロームブックなどの I C T機器を活用し、基礎的基本的な知識・技能を身に付けさせることができた。
- (2) 課題
- ・感染症の対策をしながら家庭や栄養士と連携し、学んだことを実践に生かす工夫が必要。

2 観点ごとの実態

	5 年	6 年
知識・技能	玉止め・玉結び、なみぬいなどの基本的な手縫いを身に付けることができた。 年度当初は調理単元を計画通りできなかったため、知識・技能の習得に個人差が大きかった。	手縫いやミシン縫いなど基礎的な技能の差が大きい。 昨年度から調理単元が計画通りできていないため、調理の知識・技能の習得に個人差が大きかった。
思考・判断・表現	学んだことをもとに家庭生活をより良くする方法に発展させて考えることが難しい児童が多い。	家庭生活の中で、生活をより良くするための課題を見付け実践することに困難さを感じている児童が多くいる。
主体的に学習に取り組む態度	初めての実習に興味をもち、前向き取り組む姿が多く見られた。	衣食住の学習について興味・関心をもって活動に参加する児童が増えてきた。特に掃除に関する分野は、意欲的に取り組むことができた。

3 課題と授業の改善策

		5 年	6 年
課 題	知識・技能	1 学期は新型コロナウイルス感染対策により調理単元が計画通りできなかったため、知識・技能の習得に個人差が大きかった。	意欲は高いが、昨年度新型コロナウイルス感染対策により調理単元が計画通りできていなかったため、知識・技能の習得に個人差が大きかった。
	思考・判断・表現	学んだことを家庭生活のどの場面で生かせばよいのかを考えることが難しい。	自分の生活を見直し、解決に向けて努力したり工夫したりすることに困難さを感じる児童が多くいる。
	主体的に学習に取り組む態度	意欲的に学習に取り組む児童は多いが、学んだことを家庭生活に生かして実践しようとする児童は少ない。	衣食住の学習について学んだことを、家庭で進んで実践することが難しい児童もいる。
授 業 の 改 善 策	知識・技能	調理の手順や裁縫の基礎的基本的な手順が身に付くよう、 I C T機器や動画を活用して分かりやすくポイントを示し、繰り返し練習したり教えあったりする場を設ける。	技能を確実に定着させるために、繰り返し練習させたり教え合う場を設定したりする。 I C T機器や動画を活用して分かりやすく提示することや、家庭学習での実践の場を設け知識・技能の定着を図る。
	思考・判断・表現	縫い方や調理の仕方などをペアやグループで話し合う場を設定し、友達の考えや実践を参考にしながらより良い方法を考えられるようにする。	話し合い活動や実践報告会を設定し、友達の考えや実践を参考にしながら自分の考えを深められるようにする。

	主体的に 学習に取 組む態度	学習したことを実生活にも生かせるよう具体的なめあてをもたせ、家庭への協力もお願い していく。	長期休業中などの機会に保護者に協力を依頼し、調理や片付けなどの課題に取り組ませ家庭 生活においての実践を経験させる。
--	----------------------	---	---